

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項

最近の有価証券報告書（平成24年6月22日提出）における記載から重要な変更がないため開示を省略します。

(7) 連結財務諸表に関する注記事項

1. 1株当たり情報

当社は1株当たり利益の算出にあたり、FASB会計基準書第260号「1株当たり利益」を適用しています。1株当たり当社株主に帰属する当期純利益および希薄化後1株当たり当社株主に帰属する当期純利益の算出に用いた株式数は次のとおりです。

株式数（単位：株）	24年3月期	25年3月期
基本的	220,093,275	220,129,917
希薄化後	220,093,275	220,129,917

ストックオプションに対する希薄化効果を考慮しておりますが、24年3月期および25年3月期において希薄化効果はありません。

2. その他費用－純額－の主な内訳

その他費用－純額－の主な内訳は次のとおりです。

24年3月期	
のれんの減損	2,009 百万円
為替差損（純額）	1,195
固定資産除売却損（純額）	861
長期性資産の減損	671
投資有価証券の減損	391
支払利息	269
25年3月期	
長期性資産の減損	3,265 百万円
投資有価証券の減損	1,086
固定資産除売却損（純額）	578
支払利息	277
投資有価証券売却益（純額）	△ 677

3. 重要な後発事象

該当事項はありません。

なお、リース取引、関連当事者との取引、税効果会計、金融商品、有価証券、デリバティブ取引、退職給付、ストックオプション等、企業結合等、資産除去債務に関する注記事項については、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため開示を省略します。